

センターマイク

2011/9/15

作・入江おろば

沢木那由太 熱血ボケ。お笑い芸人を目指す。

柳 宗平 クールなツツコミ。

津田佳代 カレッジズのリーダー。

大妻なのか カレッジズ。津田に惚れている。

真中真子 女ピン芸人。よくわからない芸風。椅子が浮くマジックを目指す。

土門龍二 10年前の一発屋芸人。

南条一 ピン芸人。オーディションに合格し、天狗になる。

松山響子 松竹梅。超我儘お嬢様。実はイジメにあっていて見返したい。

竹葉美登里 松竹梅のリーダー。ごく平凡な家庭で育つ。

小林梅香 松竹梅。苦勞人で根暗。実は蒸発した父親を探している。

ツツコミ(たくや) 尻小玉

ボケ(たくほ) 尻小玉

舞浜 ダンス講師。教えていると熱くなって自分で踊り始める。

高遠 奇術師。催眠術にも長けている。

うるとの母 専門学校の近くで路上占いをしている女。

鴨下 女校長の秘書。元芸人でDM。

女校長 専門学校、日本スクールオブコメディアンの校長。

○オープニング

客入れ（芸人が歌うヒットソング等）。

舞台中央にスタンドマイク。

短いジングルとともに尻小玉が前説に出てくる。

ツッコミ はいはいはいはい、どうも。——ポンッ、尻小玉です。

ボケ男 （遅れて）ちよつとなんなんだよ、いきなり走り出すなよ。

ツッコミ ……えー、本日は、築地本願寺まで足をお運びいただき、本当にありがとうございます。帰りにね、その場で美味しいお寿司でも食べていかれる方も多
いかと——

ボケ男 なんて走って出ていくんだよ。意味わかんねーし。

ツッコミ ……（不機嫌そうにチラ見して）さて、いよいよ始まりますね。ただし、その前に、恒例のやつが一つありまして。

ボケ男 だいたいさあ、この「はいはいはいはい」って何なの？ 一気飲みのコール？

ツッコミ （肘鉄くらわせ）はいその通り、前説ですわね。少しだけ、お客様にお願い事
がありませう。

ボケ男 （真似して）「ありませう」……って、お前バカか。

ツッコミ ……お手持ちの携帯電話、音の出るアラームなどの電源をオフにして——

ボケ男の携帯が鳴り出す。

ボケ男 はい、もしもし。

ツッコミ お前かよ！

ボケ男 あー、なんだマユミか。うん、いま前説中だから手短に。

ツッコミ （はたいて）なにやってんだよ！

ボケ男 恋愛相談。

ツッコミ 知るか！ いま舞台でんだろ、携帯切つとけよ！ だいたい、こんなとこまで持ってきてんじゃねーよ！ お客さんに電源切ってもらうために俺ら出てきたんだろ、なんじゃこりゃ、反対じゃねーかよ。

ボケ男 （携帯に）その恋、反対だった。

ツッコミ 電話切れよ！ なんなんだ、手短って。だいたいお前、やる気なさすぎだろ！ 「はいはいはいって何なの？」とかさっき言ってだろ、教えてやる、伝統だよ
伝統。俺らの先輩芸人たちが、汗と涙流して培った伝統だよ。「はいはいはいはい」とダツシュで客に負けない勢いをつけたよ！

ボケ男 （携帯に）あー、そうそう。古いタイプの人だから、お兄さん。

ツツコミ …お兄さん？

ボケ男 うん。

ツツコミ ……マユミ？

ボケ男 うん。

ツツコミ って、なんでお前が妹の恋愛相談乗ってんだよっ！

ボケ男 元カノだから？

ツツコミ 聞いてねーっ！！

ボケ男 このように、携帯電話は無用のトラブルの元となります。電源をお切り下さい
ますよう、よろしくお願いいたします。

ツツコミ さーて、皆さん、本日の主役、お待ちかねの人の登場です。張り切っていきま

しょう、『那由太と宗平』〜！！

ボケ男とツツコミ男が去り、宗平の出囃子SEにあわせて暗くなり、セ
ンターマイクにだけサスが残る。SE歓声。

—— ゆっくりと暗転。緞帳が上がり、ツツコミがマイクをかたす。
卒業式の歌（旅立ちの日に）が先行して。

○ 公園

同じ高校の制服を着た那由太と宗平。手には卒業証書の筒。

那由太は筋トレに励んでいる。奥に怪しげな女（うるとの母）が黒い
布を被って寝ている。

宗平 十二年も毎日毎日教科書抱えてさ、結局貰ったの紙きれ一枚と、もれなく付いて
くるこれ一本。まじバカらしいよな。

那由太 …（聞こえず）なんだって？

宗平 …お前はいいな、能天気で。

那由太 そりゃマズイな……トイレないんだろ、ノー便器。

宗平 無理にボケンでいいから。

那由太 （立ち上がり、急に真面目に）宗平、三年間で一番の思い出って何だ？

宗平 そうだな……特にない。

那由太 ないことないだろー。ほら、高2の秋。あつたろ？

宗平 なにが？

那由太 あれだよあれ。

宗平 あれ？

那由太 記憶を呼び覚ませ！

宗平 あー。初体験。

那由太 お前がボケンだよ。学園祭でやったでしょ。漫才。

宗平 なにお前、あれが一番の思い出なの？ 超ダダスベ——

那由太 中庭の特設ステージにさ、センターマイクが一本立ってて、うちの生徒以外もけっこう人が入っててさ、みんな俺らが出てくるの待ってるわけ。俺ら舞台袖で気合いれて、飛び出してたら大歓声が起こって。俺、頭真っ白になっちゃって。そしたらお前がアドリブで客イジリ始めてくれてさ。それで少し落ち着いて。ネタ忘れたり囁んだりしたけど、俺のボケで笑いが起こってさ。さらにお前のツッコミで大爆笑。なあ、感動？ これ感動っていうの？

宗平 知るかよ。あれな、ネタ忘れてテンパるお前と、焦りまくる俺見て笑ってたんだよ。

那由太 素人笑わせんのも大変だったな、相方。

宗平 相方いうな。俺らが一番素人だろ。

那由太 はやく新ネタ書いてくれよ。

宗平 なにいつてんだ。そんなことより、お前これからどうすんだ？ 実家の居酒屋継ぐのか？

那由太 飲み屋なんかやらねえ。俺、もう決めてんだ。

宗平 なんだよ、大学受けるってんならやめとけよ。俺らの頭じゃ金の無駄。

那由太 セイガクなんてやらねえ。

宗平 昭和のやくざか。そんじやどうすんだよ？ フリーターか？

那由太 天下一を目指す。

宗平 はいはい、ラーメン屋ね。ドロドロしたスープがクセに——

那由太 笑いで。

宗平 はいはい。お笑いね。いい加減現実みろお！！

那由太 宗平、お前に聞きたい。

宗平 ……。

那由太 お前のいう現実は何んだ？

宗平 ……8時からコンビニのシフト。

那由太 お前のやりたいコトは何んだ？

宗平 ……発注業務。

那由太 なら俺と芸人になろう。

宗平 ……。

那由太 なるう。

宗平 那由太、それじゃ逆に質問だ。どうやったら、芸人になれるんだよ？

那由太 しらん。

宗平 って、おい！

那由太 まー、聞け。だいたいの計画は練ってある。座れって。いいか、面白って評判になれば、テレビ局のプロデューサーや芸能事務所のスカウトがくる。その中で一番条件のいいところを選ぶ。な、簡単だろ。

宗平 ……えーと、なにそのケイカク？

那由太 「だいたいの」って言っただろ。そうだ、ゆずの話知ってるか？

宗平 ……ああ。

那由太 いきものがかりは？

宗平 あのな、すごく才能のある人がいい曲作って、すごく上手い人が歌ってたら、路上だろうがカラオケボックスだろうが、みんな聞くよ。評判になるよ。俺らは歌わないし才能ないし、だいたい路上ライブ芸人なんて聞いたこと…何笑ってるだ？

那由太 (ニヤリ)「俺ら」って言ったな、いま。

宗平 あのな…。

那由太 男に二言はあっちゃいけねえ。

宗平 ちよいちよ昭和のやくぎ出てくるな。俺、路上ライブなんて恥ずかしいこと、絶対やらないからな。

那由太 芸人が恥ずかしがったら終わりやぞ！

宗平 なにもはじまってねえだろが。

那由太 はじまりはいつも雨なんだって！

宗平 古いわ！ だいたいスカウトされるのに、どんだけ時間かかるんだよ。そんなの計画っていえるのか！？ ええ！？

睨み合う2人。

うるとらの母、大急ぎで簡易占い館を組む。

うる母 もし、そこのお若いの。

那由太・宗平 ……？

うる母 こっちやこ。

宗平 はあ？

うる母 いいから、こっちやこ、こっちやこい。

那由太 ……(近づき読んで)うる、とらの、母？

うる母 わらわは占い師。遠き遠き星から啓示を受け、依頼者の未来を予見する。

那由太 M78星雲じゃなくて？

宗平 そこはぼかすんだ。

うる母 若さとはしばしば無知蒙昧を指す。みせてくれよう、わらわの力！

那由太 わらわら？

呪文を唱え、「キエエーイ！」。

うる母　　こんなんできましたけど！

那由太　　どんなん？

うる母　　（宗平に）おぬし、女性経験があるな。

那由太　　ええ、マジで！？

うる母　　おぬしの初体験は、高2の秋とでた！

那由太　　マジか！？　　おい、宗平！

宗平　　……。

那由太　　当たってんの、スゲー！　　おい、相手誰だよ？　　タエ？マリ？カオリ？……もし

かして（母を指さす）

宗平　　ちげーって！　　こいつさっきの聞いてて……

うる母　　ホホホホッ！！　　わらわに見えぬことなどない。

那由太　　超やばいじゃないスカ！　　そうだ、うるとらのお母さん、俺らの未来を占ってく

ださい、お願いします！

宗平　　おいおい。

うる母　　よかろうもん。（呪文）

那由太　　どうスカ？　　いいとも出演が先ですか、それともさんまのまんまでスカ？

宗平　　（はたいて）成功間違いなしじゃねーか！

うる母　　キエエーイ！　　こんなんできましたけど！（暗くなる）

宗平　　……どんなんだよ。

うる母　　おぬしらの将来は……

那由太　　将来は？

うる母　　将来は……（明転）人々の笑いと拍手につつまれるであろう！

那由太　　まじスカ！？　　やった！　　おい、俺ら芸人になれるって！

宗平　　ホントかよ。

うる母　　ホントだよ！

二人　　え？

うる母　　おぬしらにはな、笑いの背後霊がついている。

宗平　　……背後霊って。うるとらの星はどこいったんだよ。

うる母　　しかーし、まだまだ、ただの石ころ。言うならば、磨けば光るダイヤの原石。

那由太　　おおーっ、フラグ立った！？　　これって、お笑いのテッペンに立つ芸人フラグつ

てやつだよ。やっぱりな、分かる人には分かるんだよ、宗平。

宗平　　簡単に信じんなよ。だいたい、こんな怪しげなオバさ——

うる母　　チョエエーイツ！

宗平 びっくりしたあ。
うる母 あっちの方角が吉と出た。すぐに行け。そこで、夢への一本道を見つけるだろう。
那由太 ありがとうございます！
うる母 (手を出して) はい、五千円。
宗平 はあ？ 勝手に占ったのそっちだろ。そんな金ねーよ。
那由太 すいません、いまあるのコレだけで。ほら、お前も持つてるだけ出せ。

財布ごと渡す那由太。勝手に宗平のポケットから小銭を取る。

那由太 430円ですが。

宗平 …おま、その財布空かよ。

うる母 まあよかんべ。あっちゃじゃ。

那由太 宗平、いよいよ俺たちの冒険の旅がはじまるぞ！ 準備はいいか？

宗平 (うる母に) 何もなかったら、金返してもらおうからな。

うる母 (小銭を数えながら) あっちゃけ、あっちゃいけ。ホホホッ。

那由太と宗平、出て行く。

○ 専門学校校稽古場

逆から津田大妻、真中、南条、松子(携帯で話しながら) 竹美小梅、尻小玉が来てセットチェンジ。棚には巨大ハリセンや金ダライといったお笑いの定番アイテムが置いてある。

皆緊張した顔。各コンビでヒソヒソ話をしている。松竹梅はまだバラ。

津田 ねえ、本当によかったの？

大妻 もお、っーちゃんもしつこいな。もう決めたの。

津田 あたしに付き合うことないよ。あんたはあんたの人生があるんだから。

大妻 つーちゃんはピンでやりたいわけ？

津田 そんなことないよ。でも、大学のサークル入るのはわけが違うんだからね。本当にわかってる？

大妻 わかってるよ。ボケればいいんでしょ？ 芸人目指してボケまくりますよ。

津田 ……せっかく、大学のミスコンで準ミスの補欠に――

大妻 補欠は言わないで！

津田 あ、ゴメン。

大妻 私はっーちゃんと女芸人を目指すって決めたの。もうこの話は終わりっ！

津田 大丈夫かなあ。

様子がおかしい真中。挙動不審に津田、大妻のところへ。

真中 真中です。こんにちは。

津田 あ、こんにちは――

真中 さようなら。(去る)

津田 え？

大妻 なにあの人？

津田 さあ。(見渡して小声で) いろんな人がいるね。

携帯をいじる松子、居眠りする竹美、小刻みに震えている小梅。
真中、今度は南条のところへ。

真中 ねえねえ。

南条 あ、どうも、俺、南条って――

真中 空気が透明でよかったと思う。

南条 へ？

真中 もし、そうでなかったら、何も見えない。

南条 ……なんなの？

真中 もし、ピンクならば世界は桃色。もし黒ならば、世界は真っ暗。どっちがいいですか？

南条 ……大丈夫か？

真中 そして星の砂が降る朝に一呼吸することに、人間に食べられていくのだ。その様をただ見ていること、それだけ。

南条 そう、それだけだよな。いやー。深いなー。

逃げるように離れる南条。

そこへ、那由太が宗平を引っ張ってくる。

宗平 行ってーな、放せよ。だから俺はいって！

那由太 何言ってるんだ！ このチャンスを利用してどうすんだよ！

宗平 コンビニのシフトどうすん――(周りに気付いて)

那由太 すいません、騒がしくしちゃって。ほら、お前も謝れ。

宗平 ……(顎をちよっと出して会釈)

土門が登場してくる。一同、緊張の面持ち。

土門 みんな揃ってるか!?……(咳払い) あー、知ってると思うが、『こっちじゃなくてこっちだった!』でお馴染の土門だ。(照れ笑い) お前らいちいちやらせんな?

一同 おー(握手攻め)。

土門 今日は体験入学ということで、まず講師の先生を紹介する。どうぞ!

舞浜踊りながら出て来る。

土門 ダンス担当の舞浜先生だ。

覆面の高遠が出て来て手品を披露。

土門 マジックを担当する高遠先生。

舞浜高遠 よろしく。

一同 よろしくお願ひします!

舞浜、高遠が出て行く。

土門 芸人とはどういうものか、その心根をお前たちに徹底的に叩き込んでいくつもりだ。まずは、この空気に早く慣れて、少しでもはやく俺のような芸人になれるよう頑張っしてほしい。

一同 はい!

土門 さっそくだが、そこ、芸人に一番大事なのは何だと思う?

松子 やっぱり、生まれ持った笑いのセンスではないかしら? 有名な落語家の御子息たちは、皆さん立派なお名前を継いでますし。

竹美 体だと思えます。父は自衛官ですが、どんな仕事も体が資本だっけいつも言ってますから。

小梅 ……お金です。生活できるお金。

土門 みんな正解だ。そして間違いでもある。一番大事なのは、大きな声で挨拶ができることだ。

松子 まあ、わたくしの幼稚舎の先生もそう仰っておりました。

土門 よし、順番にやってみろ。

松子 皆様、ごきげんうるわしゅう。

竹美 おはようございます!

小梅 はじめまして、電車賃貸してくれますか。

土門 よし！ それじゃ、校長をお呼びする。みんな大きな声で挨拶するんだぞ。校長、どうぞ！

鴨下が赤絨毯を転がして、その上を手を踏んだりしながらパリッとしたスーツの女校長が颯爽と入ってくる。

校長 おはようございます！

一同 おは—

校長 生徒の皆様、日本スクールオブコメディアン、略してスクコメへの入学、まずはお祝い申し上げますわ。

鴨下 校長、まだ体験入学で—

校長 ご入学、おめでとうございます！

鴨下 (盛んに拍手) おめでとう！ みんなよくやった！

校長 日本スクールオブコメディアンは？

鴨下 一流芸人への一里塚！

校長 ザッツライト！ 皆様御存知のように、我が日本スクールオブコメディアンは、日本初のお笑い芸人養成だけに特化した専門学校として、今年開校したわけです。皆様はその記念すべき、第一期生にあたるのです。

鴨下 (盛んに拍手) すんごい！ 超得した気分じゃない！？

校長 鴨下(静かに)。皆様は最高の選択をなさいました。現在、日本のテレビはもはや完全に芸人に制圧されました。不況のあおり、ゴールデンタイムのほとんどの時間を低予算バラエティーが占め、ドラマ、CM、情報番組や歌番組ですら芸人を見ない事がありません。映画監督になるにも、小説を書くにも、役者をやるにも、まずは芸人になった方が手っ取り早いこのご時世。指をくわえて見ている場合ではありません。

鴨下 (盛んに拍手) 僕の指もくわえて！

校長 鴨下(だまれ)。皆様には才能がある！ 未来がある！ 夢がある！ 我が校は、皆様を世の中に送り出すお手伝いをする。代わりに学費をいただく。お互いにおいしい。そう思いませんか！？

鴨下 (舐めながら) 超おいしいっす！

校長 皆様と同じように私にも大きな夢があります。それは、この日本スクールオブコメディアンに入れば、誰もが有名芸人になれるという、素晴らしい伝統を作り上げるという夢です。

宗平 (突然に) そんなに簡単に有名になれるんスカ？

那由太 お、おい宗平(空気読め)。

鴨下 あ？ こんガキヤ、校長に向かって—

校長 鴨！……（近づいて）あなた、お名前は？

宗平 ……柳宗平。

那由太 おれは那由太っス。

校長 宗平君、確かに簡単な道程ではありません。時には行き詰まることもあるでしょう。すべての種から芽がでるわけではないのも事実。ですが、這ってでも前に進まなければ何も変わりません。花を咲かすには、水を遣り続けなくてはならないのです。私は苦しくてくじけそうな時に、そっとうらやみます。いつまでも、いつまでも、果てがない空、感じている限り、夢はそこにある。

鴨下 校長、僕胸が一杯一杯になりました！

校長 入学手続きに関しては、鴨下から説明させます。最後に皆様に一言。日本スクールオブコメディアンの未来は、皆様の双肩にかかっています。一緒に頑張りましょう！

一同 おお！

土門が歌い出し、全員で合唱。拍手とともに校長が赤絨毯の上を退出。

鴨下 皆様はもう御存知と思いますが、当校は前期、後期に分かれた全日制、二年間の専門学校です。一週間以内に入学金八十万円、前期の授業料四十万円、設備維持費の十万円、計百三十万円を指定の銀行口座にお振込みください。それでは土門くん、あとはよろしく。

宗平 え、ちよつと待ってくださいよ！ そんなの聞いてねえぞ。

ざわつく生徒たち。鴨下は絨毯を巻きながら退出。

土門 はいはい、静かにしろ。いいかお前ら、芸人になればそんな金、たいしたことはない。

南条 先輩質問です。（小声で）ぶっちゃけ、売れたらどんぐらい儲かるんですか？

土門 （小声で）いい質問だ。俺が十年前、『こつちじゃなくてこつちだった！』で大ブレイクしたときのことを話してやろう。あのときは、俺の預金残高にコレ（指一本）あったからな。

松子 まあ、10億！？

土門 うえ？

竹美 そんなにはないんじゃない？ 1億ぐらいじゃ。

土門 うん？

小梅 でもすごいです。芸人ってすぐ儲かるんですね。

土門 ……まあな。

津田 土門先輩、芸人になって良かったこと、他にはありますか？

土門 いい質問ですねー。

ツツコミ 池上彰？

土門 『こつちじゃなくてこつちだった！』は完成度の高い素晴らしいギャグだったが、2〜3年も経つと、ほら、その……な？

ボケ (小声で) あー一発屋ね。

大妻 ほらその、なんですか？

津田 ちよっと。

土門 まあ、なんだ、なかなか。

大妻 なかなか？

土門 ……で、新たなギャグ、『こつちのがすごいんです！』を編み出したわけだ。

大妻 つーちゃん、知ってる？

津田 ……。

土門 (咳払い) これは一世を風靡した、というわけではないが、地方の営業には絶大な力を発揮した。俺は本州にある都府県、全て営業で回ったことがある。

那由太 すげえ！

土門 『こつちの台のがすごいんです！』とパチンコホールでやるとドツカンドツカン。夜はクライアントのパチンコ屋さんのオーナーが美味しいものを食べさせてくれてな。随分いい思いをした。ま、最近全然お声がかからないが……。とにかく、半年後にはゴールデンでやるネタ番組のオーディションがある。そこでの合格を目指して、みんなで頑張ろう！

一同 はい！

チャイムが鳴ると、生徒ははけ、土門は移動。

高遠、舞浜がパイプイスを持って入り座る。

○ 職員室

鴨下が入ってくる。

鴨下 それでは校長が来られるまで、身だしなみ検査をします。まず、髪の毛の長さからいきましようか。

鴨下が見て回って。

鴨下 はい、いいですね。

舞浜 … 鴨下さん、(あなたの) 髪かかってませんか？

鴨下 ヤだなあ舞浜先生。ギリセーフですよギリ。ふっ。次にハンカチ、持ってきてますか？

土門 うーす。(かけた手ぬぐいをまわす)

高遠 はい。(マジック用の大きめの布。何か取り出す)

土門 おく——でも横から丸見え。世界丸見え！

舞浜 ……あの、これってなんか意味あるんですか。

鴨下 さあ、日本スクール専門学校グループ、NSGの決まりですから。

舞浜 でも、私たち講師ですよ。小学校じゃあるまいし、職員会議で髪とハンカチ検査って。

鴨下 生徒に接するには、キチンとした身だしなみが重要、ということでしょう。

舞浜 (土門高遠見て) キチンとした身だしなみ？…他に言うこと——

校長 (入ってきて) 遅れてすみません！ 日本スクールオブコメディアン、最初の職員会議を始めます。

鴨下 起立、礼(高遠覆面を取る)、着席。

校長 先生方、おはようございます。

一同 おは——

校長 さて、昨日の体験入学、何人来たの？

鴨下 ……十一人です。

校長 うん。全員入学させるのは当然として、十一人は少ない。少なすぎる。どうしてこうなったのか。皆さんの意見を聞きたいわ。

鴨下 宣伝にかける予算が足りなかったと思われれます。

土門 嘘でも講師に、たけし・タモリ・さんまって書いちゃえば良かったんじゃないですかね。それでソックリさん呼んで——

校長 (咳払い)

高遠 マジックで人を増やせば？

校長 (咳払い)

舞浜 ダンスですと十一人ぐらいがちょうど——

校長 鴨っ！ 日本スクールオブコメディアンについてちよつと説明して。

鴨下 日本スクールオブコメディアンは、介護や医療、映像に音楽などで実績を出し続けている日本スクールオブ専門学校グループ、NSGの一員です。毎年、二百人以上の生徒を集めている声優スクールに続き、コメディアン養成の専門学校を立ち上げました。

校長 NSGは、文科省から学校法人の認可を受けています。つまり、いくら利益を出そうが一銭の税金も納めなくてよいわけです。稼げば稼ぐほど、学校法人は儲かるのです。

土門　ボス、丸儲け。

校長　（睨んで）わたしはNSGの理事会から派遣された雇われ校長。利益率が低ければ、すぐに交替させられるだけ。

鴨下　（必死に）校長、そんな事はさせません！

校長　なら、売上をあげる方法を考えなさい！

一同、うんうんと考える。高遠、舞浜は独特の思考中ポーズ。

土門　テレビの番組を買うってのはどうですかね？　深夜の深夜なら月五百ぐらいでい

けんじゃないスカ。それで宣伝してー

校長　ザツツライト！　生徒を出演させて十万ずつ取りましょう。

高遠　無名の生徒にギャラが出るんですか？　誰から？

校長　アーユーフル？　生徒から取るんです。十万でテレビに出れたら安いものじゃない。「スクコメに入ればテレビに出られる！」これって最高の宣伝文句になる。

ブームだからっていい気になってる声優スクールのヤツらに負けてらんないわ。よし、さっそく理事会で提案してくる。鴨下、生徒からお金を取るいい案、さらに集めという。

鴨下　あ、いつてらっしゃいませ。

校長、慌しく飛び出していく。

土門　はい！　一発ギャグで特許料とるってのはどうですか？

鴨下　却下。十年前にやったら。

高遠　マジックセットなら売れますけど。

鴨下　却下。あなただけ儲かるでしょ。

舞浜　そうだ、エグザイルのオーディション受けましょうよ。

鴨下　却下。すでに落ちてるんで！

音楽がかかり、舞浜が踊りはじめると鴨下土門高遠は去る。

生徒たちが入ってきてセットチェンジ。舞浜の決めポーズで拍手。

○ 稽古場（ダンスの授業）

舞浜　エビバディダンスナウ！！　みなさんご入学、おめでよう。一緒に頑張ろう。

一同　よろしく願います！

舞浜　みなさんは芸人を目指しているということですね。素晴らしい。芸人はリズム感

はもちろん、体が使えないと面白くなりません。『そんなの関係ねえ』や、『なんでだろう』などは、ギャグというより動きでみせるダンスの部類。彼ら芸人の魂がコミカルな体の動きと融合してギャグが生まれたのです。では、さっそく皆さんのダンスの実力を見てみましょう。思うがままにエビバディダンスナウ！ ミュージックスタート！

『ジューダス』がかかり、生徒は気の進まぬ感じで適当に踊りだす。
真中は無茶苦茶な動きで一人踊りまくっている。

舞浜 はい、ワンツーワンツー！ もっとリアルに〜！ もっとパッションに〜！ もっともっとソウルフルに〜！！

舞浜、熱中し過ぎて自分一人で踊りだす。啞然とみている生徒たち。

舞浜 (息切れして)なるほど、皆さんの実力がわかりました。あなたたちのダンスは、

まだ踊らされているダンスです。

(小声)だって踊れって。

でも心配無用。人間は皆踊りながら生まれてくるのです。

(小声)んなことあるか、首も座ってないよ。

舞浜 つまり、誰でもダンスの才能を持っているということ。今はまだ基本を知らないだけです。まずは踊りの基本、ステップからやってみましょう。まずこれが基本中の基本のステップ。

舞浜「ワンツーワンツー」と軽やかにステップを見せる。

舞浜 はい、みんな一緒に、カラになったつもりで！ ワンツーワンツーワンツー……

段々速くなり、最終的に『ジューダス』がかかって一人踊りまくる舞浜。
つられて真中も踊りまくる。

津田が巨大ハリセンで舞浜をはたいて暗転、チャイム。

明転すると舞浜が去り高遠が立っている。

『オリーブの首飾り』がかかり、高遠がつかみのマジックを見せる。

一同 おお…。

高遠 (覆面を取って)奇術師の高遠です、よろしく。(うやうやしく礼)

一同 よろしく、お願いします！

高遠 マジックやマジシャンは4年周期で大ブームが訪れます。それもだいたいオリ
ピックの年に。つまり、来年は間違いなくマジックブームが起ころうでしょう。そ
の時、芸人と茶の間はさんざんマジックを見させられます。あまつさえ、芸人は
手品を見せると無茶振りをされるでしょう。その時のために、一人一つは持ちネ
タを持っておかなくてははいけません。

一同 はい！

高遠 それから、今後キそうなのが催眠術。いまや国民病となった鬱。催眠術を使って
心の奥にひっかかっている思いやトラウマを分かりやすく見せることができれば、
鬱の治療は非常にテレビ的です。これから、そんな番組が増えていくでしょう。
そこで催眠術にかかるのがうまいタレントとして、引っぱりだこになりましょう。
先生、催眠術って誰でもかかるものなのですか？

高遠 いえ、それは個人差があります。ときどき、完全に信じこむ頭の足りない人も
いますが、だいたいの人は「眠くなる」とか言われても、「なに言ってるのこイ
ツ」と思うものです。しかし、それでは催眠術にかかりません。

竹美 じゃあ、どうすればいいんですか？

高遠 自分で自分に自分は「催眠術にかかる」という催眠術をかけるのです。簡単でし
よ？

一同 ……は？

高遠 さあ、それではさっそくやってみましょう。

全員、ブツブツと自分に暗示をかけ始める。

高遠は津田に近づいて、暗示をかける。

高遠 気持ちよくなる。気持ちがよくなる。あなたは、いい気分になる。

津田 ……。

うっとりした表情の津田。心配そうに見ている大妻。

津田 ……うふふ、ぐふ、ぐふ。

高遠 うれしそうですね。どうしたんですか？

津田 ……ローソンのプレミアムロールケーキが道に落ちてました。

大妻 つーちゃん、それまさか拾って――

津田 美味しかった。

大妻 ……！！

高遠 あなたの最近の悩み、苦しみを聞かせて。

津田 ……キャバクラの面接に行ったら、落ちた。……5軒とも。

一同 ……。

大妻 ……先生、もう、もう許してあげて。このままじゃフィリピンパブに落ちたことまで話し出しちゃう！

高遠 え？ そうね。いいわもう。

高等にハリセンされ、目が覚める津田。大妻は津田を介護。

真中がイスを持つてくる。

真中 イスになる、イスになる、あたしはイスになる……。

座ったまま固まった真中。宗平がイスを引き抜くと、数秒我慢してパタリと倒れる。SEチャイム。

高遠がはけ、土門が入ってくる。

○ 稽古場（ネタの授業）

土門 えー、それではネタの授業をはじめます。まず、コンビ・グループごとに分かれてくれ。うん？

那由太と宗平、津田と大妻以外はバラバラ。

土門 そうか、まだ決まっていなくていいところもあるわけだな。よし、それじゃ全員自己紹介して、とりあえずのコンビを決めていこう。まずお前から。

指名された那由太と宗平は立ち上がる。

那由太 俺、那由太です。あ、ボケです。で、こっちがツツコミの宗平。

宗平 ……。

土門 どこで知り会った？

宗平 小学校からの腐れ縁です。

土門 うん、コンビ名は？

那由太 「那由太と宗平」でいこうと思ってるんすけど。

宗平 まんまだな。

土門 ……ツツコミ早いな。ガキの頃からの友達は、気心が知れてるからやりやすい。ダウンタウンとか、ココリコとか。お前ら、仲良しか？

那由太 はい！

宗平 (同時に) いえ。

土門 ま、そんならいがちようどいいんじゃないか。それじゃ次。

津田と大妻が立ち上がる。

津田 ツツコミの津田です。

大妻 ボケ担当の大妻です。

津田 私たちは大学のお笑い研究会で知り合いました。

土門 ふーん、板踏んだことはあるのか？

津田 はい、自分たちで定期ライブをしていました。でも、日本スクールオブコメディアンで、一からお笑いの勉強して、将来は冠番組を持てるような女芸人になりたいです。

大妻 私もです。

津田 よろしくお願ひします！

土門 よし、次。

松子 松山響子でございます。ずっとお笑いの世界に憧れておりました。皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

土門 ずいぶんハイソな感じだな。好きな芸人は？

松子 デヴィ・スカルノ夫人です。面白くて、いつまでも変わらなくて。とっても憧れますわ。

土門 ……。はい、次の人。

小梅 ……小林梅香です。よろしくお願ひします。

土門 目標は？

小梅 そうですね…。有名になりたい、です。

土門 元気ないなー。そんなにピン芸できるか？

小梅 私、友達いないから…。

土門 ……はい、次。

竹美 竹葉美登里です。いつでも笑顔をモットーに、一生懸命頑張ります！

土門 なんかホツとするな普通で。よし、松山、小林立て。

松子小梅「？」と立ち上がる。

土門 お前ら三人でトリオになれ。

竹美 ええっ！？

土門 なんだ、嫌なのか？

松子 そうですわ、嫌ですの？

小梅 ……けっ。
竹美 ちよっと、いま「けっ」って——
土門 松山響子だから松子。竹葉美登里で竹美。小林梅香は小梅だ。お前ら、松竹梅（しようちくばい）って名乗れ。
竹美 そんな、テキトーじゃないですか！
松子 竹美さん、いつでも笑顔をモットーに。
小梅 一生懸命頑張ろう？
竹美 ……あんたらねえ。
土門 まあまあ、ちよっとそれでやってみる。はい、次——！

揉めながら座る松竹梅。替わってイスの上に立つ真中。

真中 イスです。
土門 あん？
真中 イスになって飛び回りたい。大気圏まで。
土門 ……？
津田 あ、その人、真中さんです。よく知らないけど、……そういう感じの人です。
土門 ……なるほど。よし、お前はおいおいだ。次！
南条 チッス、南条です。俺はピン芸人を目指しています。よろしくお願いします。
土門 持ちネタはあるのか？
南条 はいっ、5秒で脱げます！
土門 なるほど、ヨゴレだな。やってみる。

南条、「1、2…3…4…5！」と数えながら脱いで海パンに。
周りから「遅いだろ」などのツツコミがあつて

土門 よし、これで全員か。
ツツコミ ちよっとちよっと、忘れてますよ！
ボケ 僕らもいるんですから！
土門 いや、お前らなんか売れなさそうだから、いいよ。
ツツコミ なんですか、扱い悪いじゃないですか！
ボケ 自己紹介ぐらいさせてくださいよ！
土門 あー、声でけえなあ。時間ないからさ、ちやつちやつと。
ツツコミ えー、ツツコミのたくやです。
ボケ ボケのたくほです。
土門 はい終了。よーし、それじゃコンビ名でも考えるか。いいか、コンビ名や芸名

ってのは屋号みたいなものだ。意味、語呂、覚えやすさ、単語のイメージ……いろいろな事を考えて決めなきゃならない。さらにな、ジnkクスってのもある。

那由太 ジnkクス、ですか？

土門 ああ。コンビ名に「ん」がついている芸人は売れる。これが「ん」のジnkクスだ。

南条 「ん」ですか。あ、ウツちゃんナンちゃん。

津田 とんねるず、爆笑問題。

大妻 ナイティナインに劇団ひとり。

松子 森三中ハリセンボン！

竹美 ネプチューンも。

土門 その通り、そしてこの土門。

一同 ……。

土門 お前らもいい名前考えてみる！

コンビごとに集まって話しあい始める。

津田 はい！ 私たちは、「ん」が入ってないんですが、「カレッジズ」で行こうと思います。

大妻 えく。

土門 カレッジズ、どんな理由だ。

津田 苗字が津田と大妻だからです。

大妻 ユニバーシティーズの方がいいよ。「ん」も入ってるし。

津田 ……それ、入ってないよ。

大妻 え？……あ。

津田 すみません、この子天然で。

土門 お前らはカレッジズな、わかった。

松子 はい。先輩にいただいた「松竹梅」ですが、それに48をつけようと思います。

竹美 松竹梅48。

土門 なんかおばさんくさいな…一応聞いておこう、理由は？

小梅 あやかっつて。

土門 数字に商標権つてないよな。あとで鴨下さんに聞いておく。保留！

南条 はい、俺は「南条」で行きます。そのまんまですが。

土門 「そのまんま」は、もう誰も使っていないが、つけない方がいいぞ。

南条 つけないっす。

土門 …よし、それじゃ次の授業にいくぞ。

ツツコミ ちょっとちよつと、待ってくださいよ！

ボケ また忘れてる。わざとだ。わーざーとーだ！

土門 うるさいなー。決まったのか？
ツツコミ まだですけど。

土門 考えとけ！ いいか、お前らコンビ、トリオ芸の基本をこれから教える。ま、分かってると思うが、漫才やコントは、台本が決まっているから、ボケが間違ったことをいい、ツツコミが「なんでやねん」とか「タカトシかー」「さまぁーずかよー」というパターンだな。これは、まあスジが決まっているわけだから、練習すればタイミングや内容もうまくなっていく。ネタは稽古あるのみだ。

一同 はい！

土門 しかし、練習で上達しないのが、フリートークだ。こいつはツツコミは楽だな。ボケが面白いことを言ったら拾えばいい。それまで粛々と進行、たまにボケに振ればいいだけだからな。ボケは考えつつ、いつ振られるかわからないんだから大変だ。そんな時に、逃げる言葉を持っていると強い。防御ワードだな。宗平、俺に何か振ってみろ。

宗平 ……さー、このVTR見て、どうでした？

土門 なにがいな。

宗平 いや、見て、どうでしたって。

土門 だから、なにがいな！

宗平 ちゃんと見とけや！（はたく）

一同 おお。

土門 これが『松っちゃん逃げ』だ。同じパターンに、突然カメラ視線で「なにがですか？」という『太田逃げ』もある。それから、強引にボケを迫られて何も浮かばなかったときに、「やりようがない、やりようがないって」を連発する『大竹拗ね』。みな、ボケは必要に迫られてこんな技を編み出してきたのだ。だが、お前らボケの連中に言いたい。彼らは皆多くの引き出しを持った天才的なボケ芸人だ。お前らは小手先で逃げるんじゃない、いつでも面白くボケられるように脳を鍛えておけ！

一同 はい！

土門 よし、今日はここまで！

一同 ありがとうございます！

暗転、チャイムが鳴り、セットチェンジ。

○ 公園（夕方）

SE 虫の声。

那由太と宗平が歩いてくる。

那由太 ……宗平。

宗平 ……。

那由太 宗平。

宗平 なんだよ。

那由太 まだ怒ってんのか？

宗平 いや怒ってない。というか呆れてるよ。勝手に入学願書出しやがって、どーすんだ、百三十万なんて大金。

那由太 ……それは、何とか作るよ。

宗平 親に借金するってことだろ。

那由太 ……でも、俺らなら必ず返せるよ。絶対売れて、ちゃんと利子つけて親に返す。自信があるんだ、お前となら。

宗平 ……。

SE虫の声。

那由太 どうした？

宗平 ノー便器なお前の自信じゃ、信用できねえわ。

那由太 宗平——

宗平 那由太。俺、コンビニのシフト、深夜にズラす。お前も夜は実家の居酒屋で働け。

那由太 飲み屋なんかやんねえ……俺もそのコンビニで働くよ。

宗平 ……へ、店長マジ怖いぞ。逃げ出すなよ。

那由太 それもマニュアルどうりだろ。セブンか？ ファミマか？

宗平 ばーか、うちは超マイナーインディーズだぜ。CCストアって知ってるか？

那由太 なにそれ、ヤベ聞いたことない。

宗平 店長、元レスラーって話でさ——

那由太 マジかよ、新日？

じゃれあいながら去る二人。SE踏み切りと電車の音。

津田と大妻がくる。

大妻 つーちゃん、何か食べていこうよ。あ、さつきローソンあったよ。

津田 ……いらない。

大妻 なんか元気ないね。今日はカレッジズの結成記念日なんだから、お祝いしようよ。

ほら、プレミアムロールとか買ってさ。

津田 ねえ、なのか。不安にならない？

大妻 え？

津田 あたしは最初で最後の新卒なのに、この道選んだんだよ。氷河期だから数年は新卒扱いとか政府が発表したけど、どう考えたって残りものに見られるに決まっているじゃん。そりゃ、就活ダメだったから芸人目指すってワケじゃないけど。…あたしはこれで良かったのかって、毎日毎日不安でさ。芸人やるって言っちゃったから、静岡の実家にもう相談できないし。割りのいいバイトも落ちてばっかだし。ねえ、あんたは不安にならないの！？

大妻 ……不安だよ。

津田 本当だよ。

大妻 ……本当だよ。私ね、製薬会社の内定取れたの。

津田 え？

大妻 ちようどその日につーちゃんにエクセルシオール呼び出されてね。一緒に芸人目指すって決めたの。それですぐ内定断った。人事部の人、ギリギリまで待つてくれるっていったけど、うるさいから着信拒否にした。

津田 ……そこまですること——

大妻 だから不安だよ。誘ってくれたつーちゃんが、本気でなかったらどうしようって。

津田 ……！！

大妻 私はね、つーちゃんのファンなの。一番近くでつーちゃんの笑いを見ていたい。

津田 …………。

大妻 つーちゃん？

津田 ……あー、お腹減ったなあ！

大きな声を出して涙を隠す津田。

徐々に明かりが落ちて、二人話しながら去っていく。

大妻 それじゃローソン寄って、つーちゃん家で乾杯しようよ！

津田 やけにローソンにこだわるね。

大妻 本当に憶えてないの？

津田、大妻が去る。SEチャイム

○ 稽古場（朝）

鴨下が入ってきて、真剣な表情。

鴨下 それでは日本スクール専門学校、スクールオブコメディアンの校訓を唱和します。

宗平 1つ、校長のために。2つ、校長のために！ 3つ、校長のためにい！ 4つ――失礼します。

宗平、入ってくる。

鴨下 なんだね、今大事な時間なんだが。

宗平 ……入学金と授業料のことで、お話が。

鴨下 (にこやかに) そういうことは後にしなさい。

宗平 グループの本部に問い合わせたんですが、出なかったの。

鴨下 ……分かった。何かね？

宗平 ……ちょっと納得いかない、というか。入学金が高いし、どうゆうカリキュラムなのか、よく分かんないし。あ、授業も。マジックとかってそんなに――

鴨下 やりたくないの？

宗平 いえ、そういうわけじゃ。

鴨下 マジシャンはいいよ。つぶしがきく。

宗平 (え?) いや、俺らしゃべりの芸人目指してるわけで。

鴨下 芸人で喰えなくなったら、マジシャンやればいいじゃない。

宗平 そっっちゃなくて、学校のこと！

鴨下 あー、そっか。しかし、いいツツコミもってるね。

宗平 ……そうじゃなくて、……もう、ちゃんと聞いて！

鴨下、大笑いしながら去る。宗平厳しい表情で逆に出て行く。

その様子をジッと見つめる鴨下。松竹梅と入れ替わりで、

○ 稽古場 (ネタみせ授業)

舞台上で松竹梅がネタ作りをしている。小梅は居眠り。松子は携帯を見ている。

竹美 あるある、あるある……ちよつと小梅、真面目にやってよ。

小梅 ……あ、わたし寝ちゃった？

竹美 いるいる、自分が寝てたか聞く人。

松子 ……(カクン)

竹美 松子！ バイトバイトで睡眠不足の小梅はわかるけど、超お嬢のあんたまでなんで寝てんのよ。

松子 ……ん、わたくし、寝てませんよ？ ウトウトはしましたけど。

竹美 完全にオチてたし。……あ、これあるあるに使えるかも。
小梅 嫌な寝起きあるある。寝てたことを認めないやつ。
竹美 なんで認めないんでしょうね？
小梅 男とはすぐ寝るくせに。
松子 なんですって〜！
竹美 ちよつと怒らないでよ、ネタじゃない、ネタ。
松子 寝てない！
小梅 けっ。

真中、イスを持ち上げて自分の頭に落とし、普通に痛がる。

この間に後ろで舞台チェンジ。

グループごとに座り、あるいは立ち、ネタを考えている生徒たち。

土門が入ってくる。

一同 おはようございまーす！
土門 よし、今日はネタの作り方をやるぞ。コンビでのネタ作りは2人でやるのが普通だが、メインに書く方っているよな？ ネット書く方、手をあげる。

宗平、津田、竹美、ツツコミ男が手を上げる。

土門 お前らはコンビ、トリオの司令塔だ。ボケが書こうがツツコミが書こうが、それは関係ないが、コンビのカラーを出していかないと、この世界は生き残れない。それも時代にうけるカラーだ。例えば、オリエンタルラジオはリズムミカルなラップ調のネタに今時な外見でブレイクした。いまだったら空前のおネエブームに乗った、楽しんごとかだな。那由太、他にいま流行っているもの、なんだ？

那由太 すいか！
宗平 夏だけだろ。小学生か！
土門 ……ボケなくていいぞ。大妻はどうだ？
大妻 じいさん！
津田 意味わかんないよ！ そりゃ多いけどさ。
尻小玉竹美小梅 おー。
松子 シュールですわ。
土門 ……だからボケなくていいって。普通に聞いているんだから。それにお前らな。ボケとバカは違うぞ。お前らは本当にそう思ってるだろ……なんだ、南条、当てて欲しい顔まんまんだな。

南条 流行ってるものでしょ、Aさんは世界チャンピオン（ドヤ顔）

土門 やめとけ！ もういい、他にちゃんと芸風に取り込める流行、誰かないか？

那由太 はい！ すいか食べてるじいさん！

土門 天井きちゃったよ。

小梅 天井ってなんですか？

土門 天井にはエビが2本入ってるだろ。そこから転じて、ボケを被せて使うことだ。

小梅 天井にエビなんて入ってます？…ああ、小さいのが玉ねぎの下に――

竹美 それかき揚げ井で、いわゆる天井ではない。

松子 あら、新しいツツコミ方ですわね。でも、天井なら伊勢エビ一本が豪快でよろしくてよ。

竹美 それ4千円で、いわゆる庶民は食べない。

真中 あー、すいかと天井は食べ合わせが悪い！

目茶苦茶になりチャイム。がやがやしながら津田大妻以外出て行く。

津田 ねえねえ、そろそろ好きな人、できた？

大妻 えー、そんなのいないよ。

津田 ふーん、そうなんだ。

大妻 あ、気になってる人いるの？ 誰、誰、ね、教えて？

津田 えー、やだよ。あんたに取られたくないもん。

大妻 ひどーい。私のこと、そんな風に見てたの。

津田 だってあんた、去年のミスコンで準ミスの補欠――

大妻 補欠じゃないって！

津田 サークルで一番かっこいい桜沢くんの彼女の補欠――

大妻 補欠じゃないっ！！ 私は桜沢くんのスーパーサブだったの！ ちゃんとゴール

して結果も出してる！ なでしこジャパンの切り札よ。

津田 でも、クリスマスイブは登板機会なかったんでしょ？

大妻 天皇誕生日にはセットアップしました。しっかりホールドつきました。

津田 それを補欠っていうんじゃない――

大妻 補欠言うなっ！

動きが止まる2人。

土門たちが入ってきて、

土門 はい、お疲れさん。

津田大妻 ありがとうございますー！

土門 コントのタイトルは？

津田 『補欠ジャパン』です。

土門 んー、「なでしこジャパンの切り札よ」のとき、ちよつとくどいし、いらなかな。

宗平は、どう思った？

宗平 なでしこジャパン、強引だと思います。「補欠ジャパン」が面白いから、津田さん

の「それを補欠っていうんじゃ」のところが「あんた補欠ジャパンだね！」でべ
てしまえば。流行りの言葉を入れるだけじゃ、笑いはおきないと思います。

南条 そうそう、ひとひねりしなきゃ。

土門 お前は何もひねってねーじゃないか。

一同笑うなか、大妻だけ怖い顔。

土門 よーし、これでネタみせは終わりだな。それぞれ、ダメ出しされたところを中心

に、さらに煮詰めて完成度を高めるように。

一同 はい、ありがとうございました！

一同で曲に乗って稽古風景。

土門は南条と話し、途中那由宗のネタを盗む。

大妻が津田を舞台端に連れ出して。

大妻 何アイツ、すつごく感じ悪くない？

津田 アイツって、宗平くんのこと？

大妻 つーちゃんの書いたコント、ボロクソけなして。何様よ。

津田 けなしてた？ いいとこ見てると思うけど。

大妻 つーちゃん甘いよ。あいつ、つーちゃんの才能に嫉妬してるんだよ。

津田 ……そうかなあ。

大妻 絶対そうだよ。普段全然喋らないくせに、私たちにだけ噛み付いてさ、あーもう
超信じらんない！

津田 まあまあ、そうカリカリしないで。じゃあさ、あいつらに負けないネタ、考え直

そう？

大妻 ……うん。

そこへ、尻小玉がやってくる。

ボケ ……あ、あのさ、今夜カレッジズ、時間あるかな？

ツツコミ こいつが大妻に話したいこ——

大妻 ごめんなさい！
ボケ 早っ！
大妻 いこ、っーちゃん。
津田 え？ う、うん。

反対側で漫才の稽古中の那由太と宗平。土門にネタを見てもらう。

那由太 宗平くん、俺ね、通信教育はじめたんですよ。

宗平 ほう、あれでしょ、「わて、空手やってまんねん」からの「通信教育で」ってやつ。

那由太 (こける)

宗平 ずこっ！

那由太 (素で) 宗平、遅いよ。

宗平 こけるのが早いんだよ。

那由太 いや、いまのは宗平が遅い。

宗平 わかったわかった、行くぞ。「通信教育で」ってやつ。

那由太 (こける)

宗平 ずこっ！

那由太 早い！ 0・2秒早い！

松竹梅が出て来てコントをモチーフにした無声のパントマイム、音楽が続いて全員で稽古、授業の様子をモニタージュ&ダンスで表現する。ラストは舞浜をセンターに

舞浜 さあ明日は、思いつきり頑張るのよ！

曲終わりで那由太と宗平残して全員はけ。

宗平 あ、やべ、ネタ張忘れてきた。……まあいいか。

那由太 おいおい、芸人にとっては命より大事なものだろ。取ってこいよ、公園で待ってるから。

宗平 わり。

宗平、舞台奥に探しに行き、校長の話聞いてしまう。
鴨下が一人赤絨毯を引いてくるが、校長が来て、

校長 誰もいないんだから、いちいち敷かなくていいわよ。クリーニング代も経費にな

るんだから。

あー、失礼しました。(戻す)

校長 この稽古場、かなり古いわね……。校舎建て直しの積立金ってことで、一律30万円、来期の授業料に上乘せしましょう。

鴨下 (驚いて) ですが、どんなに早くても、いまの生徒たちが卒業してからの着工になりますか……。

校長 それが？

鴨下 ……いえ、何でも。

校長 深夜放送の30分枠を買う件、どうなったの？

鴨下 柴犬テレビ側が渋ってまして。かなり吹っかけています。

校長 しっかりしてよ！ 理事会から突き上げてんのよ。グループの声優の学校は、もっとエゲツなくやっても生徒数増やしてんだから。聞いた？ 生徒が卒業したら、今度は声優養成所作って、もう一度入学金取ってるんですって。

鴨下 ……はい。ダンピング交渉ねばりませう。

校長 うむ。……で、どうなの、生徒の実力の方は？

鴨下 まだ半年ですから未知数ですが、明日のオーディションの結果で先が見えてくるかと。

校長 十月期のゴールデンだったっけ？

鴨下 はい。四つ葉テレビの土曜、新番組です。ゲストの推し芸人というコーナーですが、ほとんどネタ見せ番組のようですね。

校長 ふーん、そうゆうの廃れたのにね。もう新人発掘しないと弾切れってわけか。この国のテレビ局、いえ視聴者はまるでピラニアね。絶えず新しいものを欲しがって、一度しゃぶったらもう見向きもしない。

鴨下 そういえば、土門もオーディションに参加するそうです。

校長 彼も必死ね。

鴨下 一度当たったスポットライトが忘れられないんでしょう。可哀相に。

校長 それでも一度も当たらないよりはいいんじゃないですか、ダッグ鴨下さん？

鴨下 ……。

校長 それに、そのぐらい眩しい世界じゃないと、夢見てくれるお客さんが来ないじゃない。私ら専門学校は商売あがったりよ。

鴨下 ……そうですね。

校長 看板のネオンは明るければ明るいほどいい。だからベガスも歌舞伎町も、夢があるように見えるのよ。人間って虫と同じね。明かりをつけなければいくらでも飛んでくる。こんな美味しい商売、やめられないわ。

宗平、こっそり立ち去る。

鴨下 校長、ちょっと問題が。

校長 なに？

鴨下 後期の授業料の分割払いと、詳しい内訳を求めている生徒がいます。

校長 ……誰？

鴨下 柳宗平です。

校長 ……やれやれ困った子ね。面倒なのが一人でもいると……。理事会に知られる前に何か手を。

鴨下 どうしましょう？

校長 取り合えず、明日の結果を待ちましょう。

鴨下 ……校長。

校長 まだあるの？

鴨下 そろそろ、あれをしないと、真面目な顔が持ちません。

校長 ……いいわよ。最初はグー！（パーを出して）はっ、とんだ甘ちゃんね。

鴨下の頬をつかんで「ブルドッグ！」

鴨下 あおくん！！

暗転。

○道（夜）

津田が携帯を手に話しながら舞台を横切る。

津田 うん、とにかく検査をして、結果がわからないと。その後のことはわかんないよ。

ね、お父ちゃん、きっと大丈夫。信じよう。……うん、マサくんによるしく言つてね。

電話を切り、「……………」。

津田、立ち去る。

SE虫の音が聞こえる夜道。一人帰り道を歩く大妻。
その先に、うるとらの母の簡易占いの館。

うる母 そのこの娘っこ。

大妻 はい。

うる母 こつちやこ、こつちやこい。

大妻 はい。

うる母 ホホホッ素直じゃな。わらわは占い師。遠き遠き星から啓示を受け、依頼者の未来を予見する。何か占って欲しいことはないかえ？

大妻 ……あります。私の恋愛運を見てもらえますか。

うる母 ふむ。みせてくれよう、わらわの力！

大妻 わらわら？

呪文を唱え、「キエーイ！」。

うる母 こんなんでましたけど！

大妻 (乗り出して) どんなん？

うる母 ……ふーむ。おぬし、今まで一度も恋愛成就したことがないな。

大妻 ……はい。

うる母 理由は――

大妻 わかっています。でも、今度はいままでのように告白するわけにいかないんです。毎日とても充実していて、とても……辛いです。

うる母 いまの関係のままでよいと？

大妻 ……分かりません。好きな人と一緒に夢を見て、汗をかいて、幸せです。けどこの幸せが、怖いのかも知れません。失いたくない、でももっと近くにいきたい。どうすればいいのか、私もう……。

うる母 ……ふむ。わらわはアドバイスをすることはできん。その恋の未来を予見するのみ。聞きたいか？

大妻 ……(意を決して) はい！

うる母 (頷いて) おぬしの恋は……

大妻 ……。

うる母 近いうちに……

大妻 ……。

うる母 きつと――

大妻 やっぱりいいです！

うる母 ホッホッホッ。(手を出して) はい、五千円。

大妻 え、ちょっと待ってください(財布の小銭入れから取り出し) ……430円でいいですか？

SE虫の声が大きくなって

明かりが反対の高遠たちに移り、大妻だけ去る。

反対側から帰路の高遠と舞浜が歩いてくる。

舞浜 (踊りながら) 高遠先生のプライベートって、ふふ、謎っていうか、全然想像つかないんですけど、休日って何をされてるんですか？

高遠 私はショッピングしたり、映画観たり普通ですよ、全然。舞浜先生はやっぱり踊ってるんですか？

舞浜 だいたい午前中は日舞を習って、午後は近所の子供たちにフリースタイルを教えてください。夜はクラブ回って、メに美竹公園で朝まで、かな。

高遠 ふふ、踊り好きなんですね。

うる母 (突然立ち上がって) ああーっ！！

舞浜 ？

うる母 ひとみっ、超久しぶり！！

高遠 ウソ、絵梨花！？

うる母 何してんの、こんなところでー！

高遠 超偶然！ そうそう、一緒に住んでる男がいるって、前言ってたよね。まだ続いてんの？

うる母 シーッ！ ちょっと名前出せないんだよね、その件はノーコメントで。

舞浜 …うるとらの父なんじゃないの。

SE虫の声が大きくなって、徐々に暗転。(薄暗転中にセットチェンジ)

うる母 ねえねえ、三人で飲みに行こうよ。

高遠 ごめん、私お酒は。

うる母 相変わらず、ノマネーゼか――

SE虫の声カットアウト。

音羽P 『オーディション参加者は参加用紙に記入して、控え室でお待ちください。』

SEざわつき。上手客席出入口から那由太と宗平が入ってくる。
(客席降り)

宗平 おい、500組以上来てるらしいぜ。3組合格したとして……10%ぐらいか？
しかしありえねー倍率だな。(那由太の緊張に気付いて) ネット見せの前に、なんかやるって聞いたけど。…な、なんだろう？

宗平 そんなにビビんなよ。面接みたいなものだろ。しかも俺らのブロック、みんな一

緒だし、気楽にいきゃあいいんだよ。

那由太 ……そうだな、そうだよな。

音羽Pの声 Oブロックの皆さんは、会場前で待機してください。チーフプロデューサーに呼ばれましたら、一列になってお入りください。以上、お願いします。

那由太 うし、いっちゃやったるぞお。(顔をパンパンと叩く)

宗平 ……那由太。

那由太 ん？

宗平 (小声で) やべ、緊張してきた。

那由太 おい！

宗平 フリートークとか振られたらどうしよう。俺ちゃんと仕切れるかな、…お前、ちやんとボケろよ。何でもいいから目立て。前に出るんだ、とにかく前にな。

那由太 ああ。最前線突っ走しつから、援護射撃たのむぜ。

宗平 ……おう。(肘をぶつけあう)

米田Pの声 はいNブロックのみんな、お疲れちゃん。次のブロック、入室しちゃって。

舞台明転。

○ テレビ局オーディション会場

舞台上には『四つ葉テレビ新番組 オーディション会場』の看板。

土門、カレッジズ、松竹梅、尻小玉、真中、南条、那由宗が舞台に並ぶ。

土門 『こっちじゃなくてこっちだった！』、土門龍二です。よろしくお願いします！

津田 津田加代！

大妻 大妻なのか？

津田 私たち

津田大妻 カレッジズです！ お願いします！

松子 みーんなの目線をいただき松子く、松子こと松山響子です。

竹美 竹から生まれたかぐや姫、19才の竹美です。

小梅 ……どうでもいいわ、お前ら。小梅です。

松子 まったけうめで松竹梅。

竹美 よろしくお願いします！

ツツコミ 尻小玉のツツこむ方でーす！

ボケ ボケる方でーす！

2人 じゃす！

真中 ……真中真子です。生涯のライバルはイス。

南条 南条っス！ よろっします！ (ものすごく深い礼)

那由太 那由太です。

宗平 宗平です。よろしくお願いします。

米田Pの声 はい、突然ですが芸人さんはクイズができないといけません。さっそくです。すが問題。親しい間柄なのに、よそよそしいことを何臭いという？

那由太 はいはいっ！ 汗臭い！

SEブツブツ！

米田Pの声 正解は水臭いでした。次はネタを見せてもらいまーす。それじゃ最初は、おつと懐かしい顔の土門さん、しくよろ！

土門を残してはける参加者。

宗平 (はたいて) このバカ！

那由太 (小声で) ごめん。

土門 245番、土門龍二です。一人コントやります。(寝てから起き上がる) うん、ここどこ？ わ、わ、何これ。…え？…UFO？ うそ、俺UFOにさらわれたの？ やべえ… (振り向いて) おわっ！？ …宇宙人？ どうしようどうしよう。とにかく挨拶しなきゃ。そうだ！ (人差し指を出す) あ、あれ頭に声が… 指を指すな (慌てて引つ込める) すいません。やべ、挨拶どうしよう。あ、そうだ今風にいこう、チョリース！ え、ヤンキーキャラを薄めるため最近は言わない？ …芸能関係に詳しい人だな、この人。…え、NASAから訪問販売に来た？ いやキャッチセールスでしょコレ。…なに、宇宙空間でも使える高枝切りバサミがたったの43万円…安い！…のか？ しかしすごいな、何でも作るよNASA。です。すがありませんよ、俺ただの芸人なんですから。え？ ギャグを見せる？ つまらなかつたら改造手術…そんな。…よし、いきます。わて、空手やってまんねん、通信教育で。ずこっ！ (こける) ありがとうございます。

土門、走ってはけ、入れ替わりにカレッジズが登場。

津田 カレッジズのショートコント

大妻 わー (拍手)

津田 『ふじこふじお』

大妻 (泣きながら) ドラえもん。

津田 はく、またジャイアンにイジメられたの？ しょうがないなあ。そんな時は――
大妻 カギ。

津田 え？

大妻 カギよこせよ、タイムマシンの。あいつが生まれる前に行って両親を別れさせてやる。

津田 …のび太くん？

大妻 それからスネ夫の親父の会社を買収して外資に売っ払う。

津田 ちよつと。

大妻 こ・の・う・ら・み・は・ら・さ・さ・で…

津田 それ漫画違う！

大妻 カレッジズのショートコント

津田 『キョンシー』

2人がキョンシーの動きで肩がぶつかり、無言のまま体当たりを繰り返して喧嘩する。

2人 ありがとうございます！

カレッジズがはけ、尻小玉が走ってくる。

ツツコミ はい、尻小玉です。

ボケ さっそくやけどな、俺ヒーローに懂れてんねん。

米田Pの声 はい終了〜！

2人 ええっ！！？

「ちよつとちよつと！」「さーべーつーだー」と文句たれながら去る。

真中がイスを持ってくる。一度置いて、座ると思ったら、持ち上げる。

真中 ……………。

じよじよに力をこめて「はっ！」。イスが落ちて、普通に痛がる。

首をひねりながらイスを持って退場。

松竹梅が走ってくる。

竹美 松竹梅がお届けするお笑いショータイム！『油断大敵』

竹美「松子、後ろ後ろ！」などあつて。

三人 ありがとうございます！

松竹梅がはけ、

南条がカップラーメンを持って走ってくる。「アチッ」などあつて。

南条 250番、南条です！ 世界平和を祈って、この熱々カップラーメンを1秒で食べたいと思います！

割り箸で、ぐるぐるかきませ始める。

南条 …おお神よ！ 醜い人と人との争いを一刻も早く終わらせたまえ。こうしている間にも、罪のない子供たちが次々と犠牲になっているのです。地雷や毒ガスといった、非人道的な兵器を作りあげた我々人間の罪と業をお許してください（M A Xスピードでかき混ぜ）。アーメン。

4秒ぐらいかかって、完食。

南条 やりました完食しました！ この南条、ついに試練を乗り越えました！ しかし南条に安息の時は訪れません。さらなる試練に向けて、戦え南条、負けるな南条！ みんなありがとう！

手を振って去る南条。

那由太と宗平がマイクスタンドを持って走ってくる。

那由太 あ、やっべえー、やばいよ、宗平くん。

宗平 どうしたの那由太くん。

那由太 南条さんの熱々カップメン作るために、ヤカンに火をかけたばで来ちゃったよ。ということで、小学校の避難訓練の話、しようか。

宗平 火消して来いよ！ なに普通に続けてんだよ。

那由太 いや、よくあることだから。給食費が無くなるぐらい。

宗平 滅多にねえよ！ 避難訓練の話だろ。

那由太 ♪キンコンカンコン 給食室で火災が発生しました。皆さん（モグモグ）落ち着いて（モグモグ）避難してください（グビグビ）プハー。

宗平 なんか飲み食いしてんな！？ 菓子パンか、菓子パンと牛乳だな？

那由太 キャー、あたし怖くい！
宗平 お、小学生女子、いいねいいね、かわいいね。
那由太 イヤー！ この人怖い。
宗平 なんでだよ！ リアルに言うなよ。教室だろ、ここ。
那由太 みんな放送を聞いてたな。校内で火事が起こった。全員目をつぶって、やった人正直に手を挙げなさい。
宗平 それ給食費紛失事件！
那由太 先生怒らないから。
宗平 怒れよ！ そこは怒ろうよ、担任なんだし。
那由太 みんな緊急時に守らないといけない「お、か、し」、憶えてるな。
宗平 あー、懐かしい、あったね。押さない、駆けない。
那由太 信じない。先生は誰も信じないぞ！
宗平 信じろよ！ なんて教師だよ本当に。
那由太 コホン。えー全員が集まるのに43分もかかりました。
宗平 あー、校長がなんかいつもキレてんだよな。
那由太 最後は教頭先生と保健の先生と一緒に身だしなみを整えながら来ました。
宗平 何やってんだよ教頭！
那由太 いーなー。モグモグ。
宗平 パン食ってんの校長か！ だいたいお前、教育者に向いてねーよ。
那由太 (素に戻って) えっ、やるの？
宗平 (小声で慌てて) 続ける、通信教育で習ったって、いえ。
那由太 ……(焦るばかり)。
宗平 ほう、あれでしょ、「わて、空手やってまんねん」からの「通信教育で」ってやつ。
那由太 ……。
宗平 ずこっ！ ……(小声で) やれ。
那由太 ……(遅れてこける)。
宗平 ありがとうございます！
那由太 ……。
宗平 (掴んで) ありがとうございます！

暗転。

○ 専門学校校稽古場

那由宗、カレッジズ、土門、松竹梅、真中、南条、尻小玉が皆お通夜の
ように沈んで座っている。泣いている大妻を津田が慰めている。

松子 全員不合格とはね。まったくお笑い草ですわ。

竹美 (やる気なく) そうそうそう、お笑いだけにね。なんでやねーん。

小梅 だからあのネタはやめようって言ったのに。ホリエモン脱獄で良かったよ。

松子 あら、あのネタ、孫正義まで出てくるでしょ。各方面面倒臭いことになりそうじゃない。

竹美 だったら、松子が書けば！

小梅 けっ。

松子 なによ！

竹美 だいたい、あんた我儘なのよ！

小梅 そうそう。

竹美 あんたは美味しいトコもってきすぎ！

小梅 バーカ！

大妻 (号泣) うわーん、づーちゃん、ごめんねえ〜！ わだじが、わだしが足引っぱったあ〜ああ…。

津田 (なでながら) そんな事ないよ。なか凄く良くやったよ。

大妻 ギョンジーに、全然なりきれなかったあ〜。キョんシーの気持ち、わたし、どーしてもわかんなくて〜ええええ (嗚咽) ……。

津田 うんうん、しょうがない。誰もわかんないよ。

SE 携帯の着信音が鳴り、南条が端に行って出る。

南条 ……はい、もしもし南条です。えっ!?

怒りに燃えていた宗平、突然立ち上がり、土門に突っ込んでいく。

宗平 てめーっ、許さねえ!!

土門にタツクルをかまして馬乗りになるが、那由太が止めに入る。

那由太 よせ宗平！ こらえろ！

宗平 なんでだよ!? このパクリ野郎だけは絶対許さねえ。生徒からネタパクって、それでも講師かよっ! え!?

那由太 やめろって!

南条 (小声で) 俺が特別スポンサー枠で合格ーっ!?

宗平 立てよ、おいっ!!

土門 (立ち上がり) ……。

那由太 ……土門先輩、どういうことなんですか。俺らのオチ、先に使われちゃったら…
あんな空気なりますよ。一人で「ずこっ」やっても…ははっ…面白くも何ともな
いし。

土門 ……。

南条 (小声で) 日清さんがスポンサーなんですかー、え、宣伝部長様が大変喜んで？
そうですね。良かったですー。ええ、カップヌードルは僕にとっての主食です。
離乳食から食べてますからー。

宗平 何とか言えよ！

土門 ……覚えとけ。この世界、綺麗ごとじゃ生きていけない。芸能界ってのは、イス取
りゲームなんだ。バラエティのギャモドラマの小さな役も、そこにいるヤツの
後ろに、何百何千もの落選者がいる。席は一個だけだ。本気の殺し合いに、友人
も血縁も、もちろん師弟関係も通用しない。だから、俺は謝るつもりはない…
てめっー

土門 が！……これを最後の授業にする。

一同 ……。

校長 そんな勝手なことは許さないわ！

女校長が入ってきて、慌てて鴨下が追いかけてくる。

土門 ……校長？

校長 日本スクールオブコメディアンは？

鴨下 一流芸人への一里塚！

校長 それが何、全員不合格？ はっ！……はつきり言って、あなたたちには失望しま
した。

南条が電話を耳に当てながら、手を上げて「自分自分」「自分は違う」と
アピールするが誰も気づかず。

土門 ……申し訳ありません。

校長 土門、お前の件はあとで。まずは——、柳宗平。

那由太 ……え？

宗平 ……(校長を睨みつける)。

校長 今の講師に対する暴力行為は見逃せない。我が校は文科省から認可を受けた学校
法人として、心身ともに健全な生徒を社会に送り出す責務がある。

宗平 何が責務だ。ただ金集めしてるだけだろ。俺たちが売れようが売れまいが、そっ

ちは関係ないんじゃないのか。

校長 もう一つ。自分の感情をコントロールできない人間は、何をやっても成功しない。

覚えておきなさい。

宗平 ……俺らは虫じゃねえ。

校長 聞いてたの。それじゃ話が早くていいわ。結論は分かってるわね。ユーアーファ

イアー。退学よ。

一同 ……!!?

宗平、走って飛び出す。

那由太 宗平!

那由太も追いかける。

南条 (携帯に最敬礼) はい、ありがとうございます! 今後とも末永くよろしくお願
いします。はい、はい、失礼いたします。

相手が切るのを確認してから、丁寧に切る南条。と同時に、津田が手を
叩く、すると金ドライが南条の頭に落ちてくる。カーン! しかし、夢
見心地の南条は、笑顔満開スキップしながら去る。

鴨下 (土門に) 校長室まで、来たまえ。

校長、土門、鴨下が出て行く。

残されたカレッジズ、松竹梅、真中、尻小玉。誰も口を開かない。

真中 ……空気が透明でよかった。

津田 ……そうね。この空気、もし色がついていたら

ツツコミ 悪い色してんだろうな……。

また皆無言になる。

ボケ どうする?

竹美 こうしてたって、始まらないよ。

松子 わたくし、意見があります。

小梅 ……なに?

松子 宗平くんへの一方的な退学処分は納得できません。

ボケ それは俺だってそうだけど……俺たちにはできることなんてあるか？

ツツコミ そうだよ。土門先輩の話じゃないけど、人のこと構ってる場合じゃないだろ。

松子 芸人の前に、一人の間ではなくて！？

小梅 ……松子？

松子 ……わたくしは、小さいころ浮いていました。ま、こんな性格ですし。親や学校に話すなんてことは、プライドが許しません。……それをいいことに、あいつら……

（唇をかみしめ）……自分が情けなかった。屈辱的なことをされても、我慢して泣き寝入りして……いつも一人で。

竹美 （驚いて）……松子。

松子 あいつらを見返したい。それがわたくしの原点。でも、もう引きこもって深夜番組に現実逃避しているわたしじゃない。一人じゃない。相方と、皆がいますわ。

頷く竹美と小梅。大妻、立ち上がる。

大妻 つーちゃん、私も宗平くんだけを退学にするのはおかしいと思う。

津田 なのか？

大妻 宗平くん、オーディション前にね、「カレッジズはクソつまんないから落選確実」って言ってきてね。超信じられないと思ったけど……いま思うと、あれでこのヤローって、かえって落ち着いた。

津田 なのかの性格見抜いてたんだ……宗平くんらしいや。

ツツコミ 俺らには、「尻小玉は絶対うける」って。なあ？

ボケ ああ。

竹美 私、コンビニのバイト紹介してもらった。

小梅 わたしはスーパールの魚売り場。

真中 （立ち上がり）……宗平くんにイスのネタ考えてもらった。最高の。

一同 ……

津田 ……皆、行こう。

全員、校長室に向かって出て行く。

○道

反対から入ってきた宗平。追いついた那由太。

那由太 ……いつまで黙ってたんだ。

宗平 別に。
那由太 これから、どうする？
宗平 …別に。コンビニのシフト増やすよ。芸人はコリゴリだ。
那由太 じゃ、俺も。
宗平 ……学校やめんのか。
那由太 ふっふーん、俺に次の計画がある。聞きたいか？
宗平 (苦笑) えーと、なにそのケイカク。
那由太 やっと笑ったな。
宗平 今度はなんだ、調理学校か！？
那由太 へっへっー、ついて来い！

那由太と宗平、去る。
Mバトルっぽいロックが先行して

○ 校長室前

津田、大妻、真中、松竹梅、尻小玉が入ってくる。
反対から鴨下が現れて

鴨下 なんだ、君たち怖い顔して。何しにきた？
津田 鴨下さんに用はありません。校長先生と話させてください。
鴨下 ダメだダメだ、校長は今忙しい。
竹美 だったら待ちます。
小梅 来てくれるまで。
松子 ここで。
ツツコミ おう！
ボケ ぜってー、動かねえ。

一人一人、地べたに座りはじめる。

鴨下 なんだなんだ？…おいおい、勘弁してくれよ。こんなことして、何の得がある？
何が目的だ？
大妻 目的なんかありません。鴨下さんには、私たち芸人の気持ちがわからないんです。
鴨下 ……
校長 何事です？
鴨下 あ、校長…。

校長が入ってくると、津田を先頭に全員立ち上がる。

津田 校長、宗平くんを退学にした理由を教えてください。

校長 当校に相応しくない言動の数々。さらに後期の授業料を支払う意思がないと判断しました。

津田 宗平くんは授業料を分割払いにして欲しいと相談したはずです。

校長 ……さあ？ 聞いてないわね。

津田 それから入学金や授業料の内訳を聞いていたそうですね。

校長 ……津田さん、あなた誤解して――

津田 暴力沙汰や授業料は方便で、日本スクールオブコメディアンにとって都合が悪い存在だったからじゃないですか？

校長 ……あなたたち何が不満なの？ うちの声優学校にくらべたら、すぐくしつかりやつてるわ。芸人になりたくない？

竹美 私はスクコメに払うために奨学金をもらっています。その返済でバイトバイトの毎日考えると、ここを卒業しても芸人の活動ができるとは思えません。

小梅 そうそう。

校長 それは生徒の選択でしょ。入学パンフ読まなかったの？ こっちは脅して入学させたわけじゃない。

津田 あなたの手は分かっています。スクコメを卒業したら、今度はお笑いの養成所を作って、そこを薦めるつもりなんです。

一同 「なんだそれ！」「ふざけるな！」「お金返して！」

校長 ……あなたたちに言われる筋合いはない。我が校は文科省から認可されたれっきとした学校法人なのよ。大学は生徒一人約50万円の助成金が国から出るけど、専門にはそれがない。入学金や授業料が上がるのは仕方ないことじゃない。

鴨下 ……天下ってきた文科省の役人の人件費もあるし。

校長 (慌てて) 鴨っ！

真中 校長先生、先生は本当に私たち生徒の事を考えてくれますか？

校長 ……。

津田 グループの理事会に使われて、ただお金儲けに走っているだけじゃないんですか！？

校長 ……。

津田 教えてください！

校長 (怒りに震えて) あんた、どうゆうつもり？

津田 宗平くんの退学を取り消して。

校長 できない。

津田 ……なら、払った分の後期の授業料を返還して。

校長 できない。

津田 どうして!?

一同、口々に「なんでだ!」「詐欺師!」などと罵る。

校長 詐欺師。ペテン師、なんともいいなさい! 私は応えない。私には信念があるから。「芸人になるチャンスが欲しい」、「高校や大学を卒業して行くところがない」、「この社会に夢も希望も持てない」、そんな人が世の中にたくさんいる。この学校は彼らの受け皿になる。チャンスをあげる、居場所を提供する、このサービスに見合う対価を貰うのは、当然の企業活動よ!

睨みあう校長と津田ら。

校長 辞めたいなら、辞めなさい。また次の生徒を募集すればいいだけ。今度は優秀な

芸人の卵が来て欲しいものだわ。ねえ、鴨下?

………。

鴨下 鴨、行くよ!

校長、鴨下を連れて去る。

大妻 つーちゃん……。

津田 この中で、残りたい人はいる?

一同、うつむいたまま。

津田 お金は絶対取り返す。みんなで辞めよう。

ツツコミ ……賛成。

ボケ 俺も。

大妻 うん。

松子 スツキリしますわね。

竹美 最後に殴ればよかった。

小梅 鴨下もね。

真中 ……ライブやりたい。

津田 え?

真中 取り返したお金で卒業ライブ。みんなと、イスト。

一同、顔を見合わせて笑顔になって去る。

○ 大物芸人邸前(道)

SE通りの音。

ホウキとチリトリでせっせと掃除する那由太。やる気のない宗平。

宗平 なあ、いつまでこんなことやるんだ？

那由太 内弟子に入れてくれるまでに決まってるんだろ。

宗平 内弟子？ なにそれ。

那由太 内弟子も知らないのかよ。師匠の家に住み込んで、雑用とかしながら芸を盗むんだよ。

宗平 ……。

那由太 芸人になるには、これが一番手っ取り早いって。この家の芸人さんはピン芸人だけど、業界で力があるって評判だし。

宗平 ……。

那由太 内弟子になれば、すぐデビューだぜ。

SE車が止まる音。

那由太、飛び出して行って土下座。

那由太 お帰りなさいませ！

SE車が去っていく音。

那由太 ……あー、なかなか見てくれないな。やっぱ大物だわ。

宗平 ……本気なんだな。

那由太 もちろん本気だよ。絶対に芸人になろうぜ、相方。

宗平 ……ごめん、俺もう無理だ。

SE夏の終わりのセミの鳴き声。

那由太 え？

宗平 そこまでして芸人になりたくない。やりたくないことするぐらいなら、俺コンビニの店員でいい。

那由太 ……宗平！

宗平 ごめん那由太。俺はお前と違うんだ。……もう、ついていけない。

宗平、去る。

那由太 ……。

SEセミの鳴き声。暗転。

津田の携帯をかける声が先行して。

○ 公園

津田 はい、はい、それじゃ搬入は朝9時からですね。わかりました。こちらは7人用意しましたので、ええ、増えたらまたご連絡します。それでは、よろしくお願ひします。

携帯を切ると、画面を見つめる津田。意を決して、電話をかける。

津田 ……もしもし、お父ちゃん？ うん、そっちはどう？ そっか。うん。お母ちゃん、はやくあの病院に移れるといいね。お店は？ ああ、マサくんよくやってくれてるんだ。そっか良かった。え、用？ ……ううん、大丈夫。近いうちに一度帰るから、ね。うん。それじゃ。

携帯を切り、ため息をつく津田。そこへ大妻が走ってくる。

大妻 つーちゃん、やったよ！ 大学の生協でチケット置いてくれるって。

津田 え、マジ！？

大妻 それに学祭実行委員会の後輩が、200人連れて来るって。これでライブはもう大丈夫だよ！

津田 なのか偉い！ でかした！！

思わず抱きつく津田。恍惚の表情を浮かべる大妻。

松竹梅が来て津田は手を離すが、大妻はしがみついて離れない。

松子 なにやってるの、あなたたち？

竹美 キョンシーコントの変形？

小梅 相変わらず仲良しだな。あれ？ 宗平くん？

のぞいていた宗平、見つかって慌てて逃げ出す。

竹美 あ、逃げた！

大妻 宗平くん！

津田 ライブ、待ってるよー！

小梅 那由太くんにも伝えてねー！

全員、準備に去っていく。

反対から、いかにもチャライ服にサングラスの南条が来て、那由太と偶然に出会う。

2人は緞帳の前、その間に裏で舞台袖へセットチェンジ。

南条 おう！ 那由太じゃねーか。久しぶりだな。

那由太 南条さん？

南条 スクコメやめて、いま何やってんだ？

那由太 あ、俺――

南条 ところで俺さあ、ついにCM来ちゃったよ。ほら、節電の夏じゃん？ 「熱いものは冷まして食べよう」キャンペーン大使に任命されちゃってさ、まいったよ。
(素に戻って) ただ、かき混ぜて冷ましてるだけなのにな。まったく何が受けるかわからん。

那由太 ……ほんとそうですね。

南条 あら、なにそのトゲのある言い方。那由太くん。

那由太 いえいえ。それじゃ急ぎますんで。

南条 あ、そうだ。お前ら辞めたあと、同期もみんな辞めたらしいぞ。

那由太 え？

南条 なんか校長に直談判したらしくてな。宗平を退学にさせないでくれって。

那由太 ……そう、ですか…。

南条 それで自分たちで卒業自主ライブをやるって話だぜ。

那由太 卒業自主ライブ…。

南条 俺もスケジュール合ったら顔出すからさ、しくよろしく！

南条、立ち去り、一人残る那由太。そこへ宗平が入ってくる。

那由太 (バツタリ) ……。

宗平 ……。
那由太 ……。
宗平 なんか言えよ。
那由太 やあ。
宗平 やあってなんだよ。
那由太 ……聞いたか？
宗平 ああ。
那由太 どうする？
宗平 どうしようかな。
那由太 宗平、芸人やりたくないなら、もう引き止めない。でも、最後にあいつらと同じ板に立とう。「那由太と宗平」のラストステージだ。
宗平 ……。
那由太 約束だぞ、センターマイクで待ってる。
宗平 ……ああ。
那由太 足引っ張るなよ。
宗平 お前こそ。

肘をぶつけあう二人。

SEざわめき先行して

○ ライブ会場前

ライブの立て看板。高遠、舞浜が歩いてくる。舞浜はヘッドフォンで音楽に夢中。

高遠 いよいよですね、あの子たちのライブ。

二回言っても気付かないので、ヘッドフォンを取ってもう一度。

舞浜 (驚いて) ……ええ、楽しみですですね、お客さんもいっぱい入ってるみたいだし。

そこへ鴨下が走ってくる。

高遠 鴨下さん、遅い。

鴨下 すまんすまん、机かたすのに手間どっちゃって。

舞浜 え、すんなり日本スクールオブコメディアン、辞められたんですか？

鴨下 まあね。
高遠 鴨下の回想。

明かりが変わりMシエルブルーの雨傘。校長がツカツカ入ってくる。

校長 鴨下！ どうゆうつもりっ！？ あんた入学金半分と後期の授業料、あの反乱分子どもに返したそうね。頭おかしくなった？ 自分のやったこと、わかっている？

鴨下 いえ校長。俺はこれでも、かつて芸人を目指した端くれです。彼らの笑いの夢とその将来を奪うことはできません。

校長 ユーアーファイアー！ クビよクビクビッ！！ 業務上横領で訴えてやる！
鴨下 できるもんならやってみな。その前に――

両者、にらみ合って

2人 最初はグー！（パーとチョキ）
鴨下 最後は俺の勝ちっ！

鴨下、校長の両ホッペをつまみ、

鴨下 たて、たて、よこ、よこ、まるかいてえ――

校長 （痛さに）あうっつ！
鴨下 ちよん！！！！

校長、もんどりうちながら、逃げる。明かりが戻る。

高遠 ……すう。

舞浜 いい気味だわ、あの校長。

高遠 生徒いなくなったら、「ユーアーファイアー」の一言であたしら講師をクビにしてさ。

舞浜 ね。鴨下さんはまた芸人目指すの？

鴨下 いや、この世界からは足を洗うよ。これからは、いちファンとしてお笑いを追いかけていこうと。

高遠 そうね。
舞浜 彼らに期待しましょう。……あれ？

舞浜、土門とうる母を見つける。

うる母 龍ちゃん、やっぱ男だわ。惚れ直したね。セカンドラブ。

土門 だろー、俺が頼めば、照明さん、音響さん、舞監さん、最高のチームが集まるぜ！
……アイツらのためにできるの、これぐらいだからな。

舞浜 土門さん？

高遠 絵梨花？

土門 (やばい) あー、これはその、偶然、そこで……あ、いや、そっちじゃなくてこ
っちだった——

うる母 あんたっ、もう観念しい！

高遠 絵梨花の同棲してる男って…。

土門 土門です。いや、バレちゃった。

うる母 15年前、この人がボクシングの試合で負けて、あたしの占いにきたのね。「ボク
サーはやめる。ボコボコにされて、こんな顔になったんですけど次何をやればい
いですか」って聞くから、なんとなく芸人って。そしたら、「こっちじゃなくてそ
っちだったか！」って突然言い出して。

土門 俺、ボクシングやるか芸人やるか、最初迷ったんだよ。だから、絵梨花に言われ
てハツとした。一発ギャグも思いついたしな。

高遠 そうだったの。「人生は選択の連続」。「こっちじゃなくてこっちだった」、けっ
こ深いわね。

土門 あっ！

一同 ？

土門 一発ギャグ思いついちゃった。『こっちむいてドン！』
一同 ……。(うる母だけ大爆笑)

暗転。

○ ライブ会場舞台袖

袖にある薄暗い物置兼楽屋。

カレッジズ、松竹梅、真中、尻小玉が緊張の面持ち。

宗平は那由太がまだ来ないことにイラ立って端で携帯をかける。

宗平 ……あ、もしもし、お前いまだこ……(留守電になり) お前もう出番だぞ！ と
にかく待ってるからな！(切って) ったく、なにやっつてんだあいつ！

宗平出て行く。気合をいれた松竹梅、舞台に。SE 歓声。笑い声。

○ 舞台袖

SE 笑い声と拍手が聞こえ、松竹梅が帰ってくる。
ハイタッチで迎える面々、みな笑顔。
Mに合わせて真中がイスを持ち上げて、ゆっくりと手を離す。するとイ
スは浮遊している（ピアノ線で持ち上げる）。
尻小玉が気合をいれて出て行く。
SE 歓声拍手が大きくなって——暗転。

笑顔の松竹梅、真中、カレッジズ、尻小玉。缶ビールを片手にささやか
な打ち上げ会場。楽しい雰囲気にな南条が乱入してくる。

南条 おー、お前ら皆良かったぞ！
津田 南条くん！？
松子 こんなどこ来て、大丈夫なんですか？
南条 大丈夫！……なわけないだろお（泣）
ボケ 全国の小学生が熱々ヌードルを一気食いして、火傷する子が続発。
ツツコミ 「熱いものは冷まして食べよう」キャンペーン大使降板。
ボケ さらにツイッターでは実は熱々ではなく、人肌で冷ましていたとつぶやく。
ツツコミ 炎上して閉鎖。大手事務所契約の話が白紙。
南条 だって俺、猫舌なんだから。
小梅 売れるのも楽じゃないね。

ツツコミが何かに気付いて外に出る。

南条 …お前ら、これからどうすんだ？ 頼むから俺を見捨てないでくれよ。
松子 そうね、同期のよしみで入れてあげましょうか。
南条 え、入れる？
竹美 私たちで、小っちゃなお笑いの事務所を立ち上げることにしたの。私はもう、芸
人やめて社長業に専念するけど。
小梅 これからは、梅松というコンビ名でいきます。よろしく。
大妻 良かったね小梅ちゃん。早くお父さん、見つかるといいね。
小梅 うん。
南条 何だよ、その話。
小梅 大したことじゃない。借金抱えて蒸発した父親が、テレビで観た娘に会いにくる
なんて、よくある話でしょ。それで柴田理恵と徳光和夫を泣かすの。

南条 そうなんだ。

竹美 カレッジズはどうするの？ 一緒に頑張ろうよ、ね。

津田 …うん、考えとくよ。

大妻 (ジッと見つめ) ……。

ツツコミが慌てて走ってくる。

ツツコミ おい！ いま外に、どっからどう見ても借金抱えて蒸発したような、おっさんがウロウロしてるぞ！

小梅 …けっ、もう来たのか。

竹美 小梅、行ってきなよ。

松子 はやく！

ボケ 俺らはバラシはじめるから。

小梅「父上」とはけて残りでセット片付ける。

途中、小梅が戻ってきて、

小梅 人違いだった。

全員 (ストップ) ええ！？

などあつて、全員はける。

○ 公園

並んで座っているカレッジズ。缶ビールを片手に

大妻 お疲れさま！

津田 お疲れ。

大妻 大成功だったね。

津田 キョンシーで転んだのは、ご愛嬌？

大妻 ううん、あれはわざとだよ。

津田 ええ？

大妻 だって、キョンシーだってつまづくこと、あるでしょう。

津田 そっか。

大妻 でも、立ち上がるよ。

津田 そだね。

大妻 ……。

津田 ……。

2人 私ね——

大妻 あ、ごめん、つーちゃん、なに？

津田 なのかこそ、なによ？

大妻 私は、その、たいしたことじゃない。

津田 ……そう？

大妻 うん。つーちゃん、先話して。

津田 ……ちよつと、重い話だけどいい？

大妻 ……うん。

津田 あたし、静岡に帰る。

Mが流れ出す。

大妻 え？

津田 お母ちゃん入院しててね。あんまりよくないんだ。それでお父ちゃんが毎日病院

行ってるんだけど、介護疲れも心配だし……。うち工務店やっててね、そっちは

あたしの幼馴染が手伝ってくれてるんだけど、やっぱり、お父ちゃんいないとお

客さんも減っちゃやし。マサはいいヤツなんだけど、頭悪いから。あ、マサって

その幼馴染ね。ちっちゃい頃からずーっと一緒に、お互い何でも知ってる。それ

こそあいつの下の毛が生えたときだつて知ってるぐらいだから。

……。

だから……。

……だから？

(唇を噛んで) だから、カレッジズは解散。

……。

……。

……そっか。つーちゃんがそう決めたんだ。

……うん。ごめ——

大妻 謝らなくていいよ。

津田 ……(急に明るく) なのかの話ってなんだったの？

大妻 ……私ね、病気なの。

津田 え？

大妻 体が悪いわけじゃないんだけど、小っちゃい時に怖い目にあってね、そのせいで、

心の一部が壊れちゃったの。

津田 心の一部？

大妻 うん。とてもとても大事な場所。だけどね、それが壊れたおかげで、すごく幸せなこともあったよ。

津田 ……どういうこと？

大妻 ううん、それは教えない。たとえ相方でも。

津田 そう。

大妻 (立ち上がって) いつ帰るの？

津田 (立ち上がって) 明日。落ち着いたら手紙だすね。

大妻 うん。待ってる。

握手をしようと手を伸ばした大妻を津田が抱き寄せる。

Mが大きくなって、キスとともにカットアウト。津田がはける。

大妻 さようなら、大好きな人。

大妻、立ち去り暗転。暗転中に

宗平の声 (切羽詰まって) 中央救急病院のICU……すぐ行きます、こっからなら20分で。大丈夫なんですか、大丈夫なんですよ、看護師さん、大丈夫だって言うてください、言うてくださいいいいい！！！！

○ オープニングの劇場

センターマイクに尻小玉がいて、前説をやっている。

ボケ男 このように、携帯電話は無用のトラブルの元となります。電源をお切り下さいますよう、よろしくお願いいたします。

ツツコミ さーて、皆さん、本日の主役、お待ちかねの人の登場です。張り切ってくださいませしょう、『那由太と宗平』くっ！！

SE 出囃子と共に宗平が走って出て来て、センターマイクの片側につく。
SE 拍手。

宗平 どうも、『那由太と宗平』です！ ……え、今日は初の単独ライブってことでね、ガラにもなくスゲエ緊張しています。いやー、いっぱい入ってるな……ほとんど俺の友達か家族だけ。いやうそうぞ。

Mがかかりはじめ。

…え、ちよつとだけ自分のこと、話させてください。実は俺、もともと芸人になりたいってわけじゃなかったんです。高校出て、とくに何かしたいことがあるわけじゃなくて。ま、コンビニの店員でもドラドラやろうかなーって考えてたんですけど、あるヤツに誘われて、なんとなく芸人目指したんですよ。そんなんだから、この世界入ってからやめようと思ったことも何度もありました。俺、根気とか我慢とか、そうゆうの全然ダメで。昔から何やっても長続きしなくて。ちよつとうまくいかない、芸人もすぐやめようと思いました。でも、その度にそいつ、邪魔するんです。熱くてくどくてしつこくて、最後にや……最後にや自分から言い出した約束まで破って、どっかにいっちゃいました。……そうだ、俺そいつに嘘ついたことがあるんですよ。高校時代の一番の思い出聞かれて、ホントはそいつと学祭で漫才やったことだったんですが、高2の秋の初体験だって。バリバリ童貞でしたけど（笑）。ま、つまらないボケのつもりだったのに、訂正しないまま……そいつ子供助けに踏み切り飛び込んで……。…（堪えて）冒険の旅は突然一人プレイになりました。まったくしょうがないヤツです、ホントに。でも、恨んではいません。こうして、…今、この場所に俺がいるわけですから。たぐさんの同じ道を目指す仲間たちと出会えたんですから。全部、そいつのおかげです。……あ、この漫才スタイル、ちよつと説明しておかないといけませんね。ここは、……まあ空けてあるわけですが、こうして漫才やると、なんかスゲエ落ち着くんです。だから、気にしないでくださいいね。それじゃはじめます。まずは、やっぱアレからいきましようか。「小学校の避難訓練の話」――

ネタをやり、笑いのSEとともに音楽が大きくなっていき、暗転。

○カーテンコール

おしまい